



生涯学習フェスティバル 遊学よねざわ



マナビのつどい
一年 探究科 男子

私たちは10月5・6日に米沢市営体育館で行われた生涯学習フェスティバルに参加してきました。そこには子どもから大人まで様々な年代の人が集います。そこで私たちは「子ども向け科学実験講座」と題し、子どもたちとともに科学に触れ合う機会を設けました。

事前学習として、7月に私たちはグループを組み、今回行った実験を試みました。どうやら子どもたちが安全にかつ容易に楽しく実験ができるのか、みんなで試行錯誤しながら行いました。

その結果、当日では子どもたちの笑顔が多く見られたように感じました。私たちにとっても、普段はあまり触れ合うことのない子どもたちとのコミュニケーションの場となり、とても良かったと思います。

今回の活動で学んだことはFS（異分野融合科学）やTTT（東京探究研修）、SSR（探究学習）などの活動に生かしていき、もっとよりよいものを作れるように頑張ります。



生涯学習フェスティバルに参加して
一年 普通科 女子

私は教育系の仕事に興味があったので、10月5・6日に米沢市営体育館で開催された生涯学習フェスティバルに参加した。

私が担当した「シャボン海によろこそ」はシャボン液の調製と、輪っかを持ち上げて割れないように大きなシャボン玉を作ることが大変だった。多くの子どもたちが来てくれて、シャボン玉の中から外の様子を見るという不思議な体験を楽しんでいた。私も二回ほどシャボン玉の中へ入り、子どもたちと同じ気持ちを味わうことができた。安全を守るためのお願いをするにあたって、うまく伝えられなかったり、言うことを聞いてくれない子がいたり、困ることがあった。子どもに伝わるように話すコミュニケーション能力が自分には足りないと感じた。このような機会があればまた参加し、コミュニケーション能力を身に付けていきたい。

10月5・6日に米沢市営体育館（米沢市金池三丁目）において、米沢市生涯フェスティバル「遊学よねざわ」が行われました。特別企画・モバイルキッズケミラボに本校も一年探究科を中心に参加し、「あらフシギ！まあキレイ！理科体験」を行いました。



南原地区文化祭

南原地区文化祭に参加して
二年 理数探究科 男子

私たちは10月27日に開催された南原地区文化祭で、子ども向け科学実験教室を開きました。実験内容は「つかめる水」というもので、最初は手から流れ落ちてしまう液体でも別の液体を加えると、液体間に膜ができてつかめるようになるという実験です。ところが、どういうわけか、子どもたちは水がつかめるようになって驚きませんでした。そこで、顧問の先生からアドバイスをいただきました。それに基づき、私たちは「子どもたちに水がつかめないのを確かめてもらう」というプロセスを設けました。すると、水をつかめるようになったとたん、子どもたちは驚き、そして笑顔が見られるようになりました。

この文化祭を通して、私たちは前提があってこそ結果が生きるということを学びました。今まで実験結果を見せることばかりに固執していたので、自分の盲点に気づく良い機会となりました。



科学を知るために
一年 普通科 男子

私たちCSS（コア・スーパー・サイエンス）部は、情報や生物、ものづくりなどにおいて、日々科学を追究して活動しています。これまで様々なイベントに参加しました。10月には南原地区で催された地区の秋祭り「南原文化祭」に参加し、「つかめる水」のブースを出させていただきました。このつかめる水はこれまで別のイベントでも行っており、それぞれの役割を果たしながらの連携プレーが、実験ブースを開く上で要になってきます。当日の文化祭は、地域の人たちで盛り上がり、ブースに来るのは小学校低学年の子どもたちが多かったように感じました。彼らの多くは理科を習ったことがないため、実験を体験するのは初めてだったようで、子どもたちは夢中で実験に臨んでいました。科学を知る入口は、実際に触れたり、体感しておもしろさを知ることだと思います。そのため、子どもたちに科学のおもしろさを知ってもらうためにこれからも地域活動に参加していきたいです。

10月27日に南原コミュニティセンター（米沢市南原猪苗代町）において、南原地区文化祭・展示部門が行われました。本校CSS部13名が参加し、子ども向け科学実験教室を行いました。

